

特許紹介

第 23 卷 第 11 號 昭和 12 年 11 月

鉄矢板押込式隧道工法

(特許第 121364 號
特許權者 (發明者) 白石多士良)

此の發明は、上土の陥落の危険を防止し作業を安全迅速に行ひ得る隧道工法を企図したものであつて、即ち隧道掘鑿に當り兩縁に継手溝 (2) (2) を有する支板 (1) (圖-1) を豫め支板取付ジャッキ (3) (圖-2) とジャッキ用ハンドル (6) によつて未開鑿地盤中に押し進め置き、其の支板下に於て其の押進め後毎回隧道セグメント (11) を捲立て其のフランジ (12) を順次支板押込用支點とし、且つ支板押込み前に未開鑿地盤中に木製楔 (9) を押込んでおいて前記の支板前端の下降を防止せしめて行くのである (圖-3)。

圖-1.

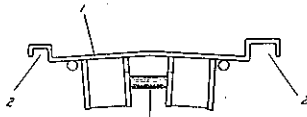


圖-2.

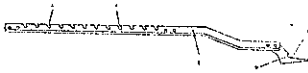
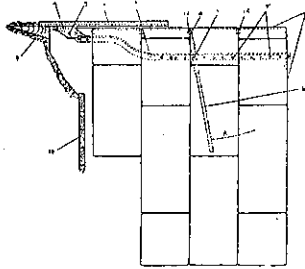


圖-3.



異形断面を共有する金網蛇籠の構作方法

(特許第 121376 號
特許權者 (發明者) 山下 氣)

此の發明は蛇籠の上面又は側面に種々の変化を興へて、洗掘防止又は制流作用をなし得る金網蛇籠を目的として考案したものである。

縦軸に平行した扁平螺旋線又は屈曲線を纏絡して成る筒状体金網蛇籠に於ては、従來縦軸に直角なる横断面は従來網目を不均一にするか別籠を添加して初めて任意の異なる断面を得たのであるが、この發明では特殊棒骨を使用し、胴網の一部

圖-4.

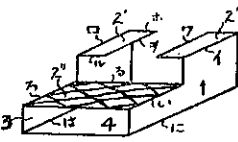
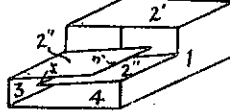


圖-5.



屈曲線を胴網縦軸に直角に切断分割し、其の分割網線の縦軸に平行な方向に於て網線の纏絡を解除した後網線を増加纏絡 [圖-4、(ア)-(ア)] し、或は減少纏絡 [圖-5、(カ)-(カ)] すべき操作に依つて胴網周長を増減せしめるのである。

ビルディング地下室の築造方法

(特許第 121368 號
特許權者 (發明者) 根木 昌三)

此の發明は、地上に於て地下室を構築し、之を其の儘隣接地盤に悪影響を及ぼす

事なく沈下せしめ得る工法を目的として考案したもので、即ち地下室側壁 (1) 及室仕切り (2) を地上で構築し、地下室の底 (5) を掘つて地下室を自重に依り沈下せしめ、所定位置迄沈下した時各室より 1 本乃至數本の基礎工 (6) を打込み又は沈下せしめ、次に基礎工及地下室を一体に連結し、最後に地下室壁を造るのである (圖-6、圖-7)。

圖-6.

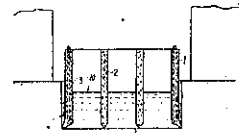
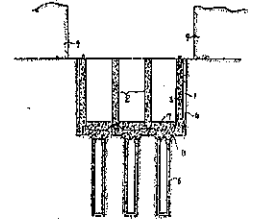


圖-7.



埋込管穿孔装置

(特許第 121493 號
發明者 長谷部直行 特許權者 日本鑛業合資會社)

此の發明は、収水管を地下に埋設した儘簡易に穿孔すると共に發射穿孔が的確に行はれたか否かを地上にて觀察し得る装置を企図考案したものである。

圖面に就き説明すれば、彈丸藥莢 (4) 及藥莢の電氣着火制御器 (7) を備へた發砲装置を、地上に設置した電流計の回路の一部をして發砲装置内の彈丸發射通路に横切らしめ、地上開閉器 (15) により電氣着

圖-8.

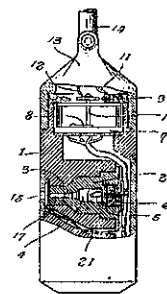
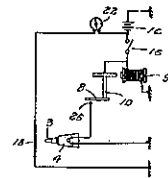


圖-9.



火の電氣着火制御器 (7) を備へた發砲装置を、地上に設置した電流計の回路の一部をして發砲装置内の彈丸發射通路に横切らしめ、地上開閉器 (15) により電氣着

火して弾丸を發射し、發射彈丸に依り收水管壁を貫通せる際に電流計回路を遮断するやうに構成したものである(図-8、図-9)。

コンクリート パイル打込法

(特許第 121438 號 發明者 高橋重三 特許權者 大同コンクリート工業株式会社)

此の發明はコンクリートパイルを極めて簡單迅速に沈下途中に存在する硬層部を突破し得る工法を目的として考案したもので、

内管(3)と外管(コンクリートパイル)(1)を設け、内管(3)には噴射装置を設けると共に内外管を同時及單獨に打込み得るやうにした打錘装置(6)を設け、兩管が薄き硬層部に達した時は先づ内管

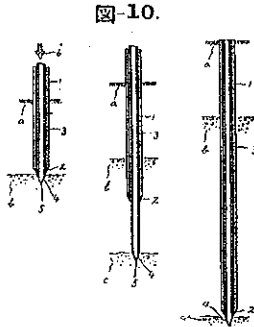


図-10.

(3)を沈下して土圧の抵抗力を減少せしめて外管を沈下せしむる操作を繰返し、硬層部を突破して軟層部に到れば、又兩管併打して穿入を進め、所定の位置に達すれば、内管を引抜き外管内に砂、砂利等を投入しつゝ管底附近を搗擴げ基盤を作り順次外管内を搗固め、填塞して抗打操作を完了するものである(図-10)。

電纜管用コンクリート孔道施工法

(特許第 121453 號 特許權者(發明者) 野藤尚一)

此の發明は、外型(1)内に於て基礎上に立てた内型(2)を挟む補強筋(3)に内型に接觸する支持材(4)を取付け、之等の補強筋及支持材の内型に接觸すべき部分に陶器製等の不朽性支承片(6)を回轉自在に裝架し、其の表面をコンクリートと粘着しない資料で被覆し、其の支承片(6)に中空囊狀内型(2)を支承片の部分で凹入せしめた状態でコンクリートを外型(1)内に充填凝固せしめて、内型外型を除去する方法で、電纜管が直接に

図-11.

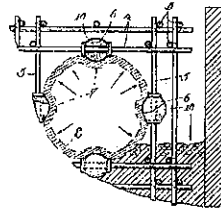
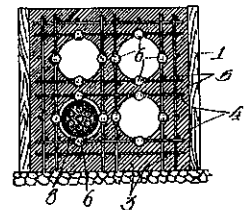


図-12



コンクリート孔道の内面に接觸せずに不朽性の支承片で受けられるから鉛皮の侵蝕せられる事を防ぎ、然も電纜管を引込む際に支承片が轉動して著しく作業を容易ならしめる効果がある(図-11、図-12)。

(附) 登録實用新案

鉄筋コンクリート浮棧橋

(第 230854 號 實用新案權者 公告 12 年第 4007 號 坪井真事)

耐寒給水栓

(第 240081 號 實用新案權者 公告 12 年第 1816 號 藤原篤造)

オゾンにて水を淨化する装置

(第 240212 號 實用新案權者 公告 12 年第 4402 號 山口啓一)

隧道墜坑類の裏張装置

(第 240825 號 實用新案權者 公告 12 年第 5883 號 ハインリッヒ・エルンスト・マスマン)

通水方向の如何に關せず通水量を表示し得る量水器

(第 240368 號 實用新案權者 公告 12 年第 2611 號 關本左右馬)

水道栓

(第 240418 號 實用新案權者 公告 12 年第 4780 號 古谷宗三)

オゾンにて水道水又は溜水を淨化する装置

(第 240479 號 實用新案權者 公告 12 年第 5881 號 山口啓一)

基礎井筒

(第 240597 號 實用新案權者 公告 12 年第 4704 號 株式会社 間組)

不凍給水栓

(第 240679 號 實用新案權者 公告 12 年第 4322 號 戸澤廣次郎)

(吉藤幸朔)